

国家機関の建築物等における吹付けアスベスト等の 使用状態に関する調査(フォローアップ)結果について



国土交通省では、アスベスト問題の対応として、国家機関の建築物及びその附属施設(以下「建築物等」という。)における吹付けアスベスト等の使用実態について2005年度から調査を実施しています。

1. 調査概要

- ・ 調査施設:各省各庁の所管する建築物等のうち、国有財産(行政財産に限る。)に該当するもの
- ・ 調査材料:「吹付けアスベスト」及び「アスベストを含有する吹付けロックウール」
- ・ 調査時点:2021年3月31日

2. 調査結果概要

○ 調査対象件数 : 81,912棟 (100%)

- ・吹付けアスベスト等が使用されている件数 : 295棟 (0.36%)
うち、封じ込め等の飛散防止対策を実施済みの件数 : 278棟 (0.34%)
うち、未対策の件数: 17棟 (0.02%)
- ・吹付アスベスト等を使用している可能性があるが含有量が未調査の件数:2棟(0.003%)

3. 進捗状況

(2020年3月31日時点の調査結果との比較)	2019年度	2020年度
・吹付けアスベスト等が使用されている件数 :	304棟	→ 295棟
うち、未対策の件	18棟	→ 17棟
・吹付アスベスト等を使用している可能性があるが含有量が未調査の件数:	2棟	→ 2棟

当社は、公益社団法人 日本作業環境測定協会の石綿分析技術評価事業で A ランク評価、一般社団法人 日本環境測定分析協会の分析技能試験に合格しており、アスベスト分析法委員会認定 JEMCA インストラクターも在籍しております。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

資料 [2021年9月10日付 国土交通省報道発表資料](#)

環境リスク分析箇所 守屋貴志

